

令和5砂糖年度における
砂糖及び異性化糖の需給見通し
(第2回)

令和5年12月

農林水産省

令和5砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し

表-1: 砂糖の需給見通し

(単位: 千トン)

項目		期間	令和4砂糖年度 (実績)	令和5砂糖年度				合計
				10月-12月(実績見込み)	1月-3月(見通し)	4月-6月(見通し)	7月-9月(見通し)	
消費 量	分蜜糖		1,748	460.9	418.4	440.1	440.6	1,760
	含蜜糖		32	6.9	10.6	8.6	7.1	33
	合計		1,781	467.8	429.0	448.7	447.7	1,793
供給 量	国内 産糖	分蜜糖	694	291.1	256.8	35.3	—	583
		含蜜糖	8	1.0	6.1	1.0	—	8
		小計	702	292.1	262.9	36.3	—	591
	輸入糖	分蜜糖	1,054	250.5	241.2	348.2	338.1	1,178
		含蜜糖	6	1.4	2.7	1.9	0.9	7
		小計	1,060	251.9	243.9	350.1	339.0	1,185
	合計	分蜜糖	1,748	541.6	498.0	383.5	338.1	1,761
		含蜜糖	14	2.4	8.8	2.9	0.9	15
		小計	1,762	544.0	506.8	386.4	339.0	1,776
	期末在庫			343	391.2	469.1	406.7	298.1

- (注) 1. 分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。
 2. 輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

表-2: 加糖調製品の需給見通し

(単位: 千トン)

項目	期間	令和4砂糖年度 (実績)	令和5砂糖年度				合計
			10月-12月(実績見込み)	1月-3月(見通し)	4月-6月(見通し)	7月-9月(見通し)	
消費量		400	104.6	101.5	107.8	107.6	421
供給量		400	104.6	101.5	107.8	107.6	421

- (注) 1. 改正糖価調整法(平成30年施行)に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
 2. 消費量は対象となる加糖調製品の輸入量(財務省貿易統計より算出)を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。
 3. 令和5砂糖年度の消費量は、令和4砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表-3: 異性化糖の需給見通し

(単位: 千トン)

項目	期間	令和4砂糖年度 (実績)	令和5砂糖年度				合計
			10月-12月(実績見込み)	1月-3月(見通し)	4月-6月(見通し)	7月-9月(見通し)	
消費量		767	174.1	180.2	221.8	209.8	786
供給量		767	174.1	180.2	221.8	209.8	786

- (注) 標準異性化糖に換算した数量である。

令和4砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し

表-1: 砂糖の需給見通し

(単位: 千トン)

項目		期間	令和3砂糖年度 (実績)	令和4砂糖年度				合計
				10月-12月(実績)	1月-3月(実績)	4月-6月(実績)	7月-9月(実績)	
消費 量	分蜜糖		1,746	458.8	414.5	439.1	435.8	1,748
	含蜜糖		34	7.0	10.0	8.4	6.9	32
	合計		1,780	465.8	424.5	447.5	442.7	1,781
供給 量	国内 産糖	分蜜糖	783	371.2	315.1	7.6	—	694
		含蜜糖	9	1.2	5.9	0.9	—	8
		小計	792	372.4	321.0	8.5	—	702
	輸入糖	分蜜糖	953	295.5	154.1	320.6	283.8	1,054
		含蜜糖	7	1.3	2.1	1.9	0.9	6
		小計	960	296.8	156.2	322.5	284.7	1,060
合計	分蜜糖	1,736	666.7	469.2	328.2	283.8	1,748	
	含蜜糖	16	2.5	8.0	2.8	0.9	14	
	小計	1,752	669.2	477.2	331.0	284.7	1,762	
期末在庫			377	577.0	620.6	498.7	342.8	343

- (注) 1. 分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。
2. 輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

表-2: 加糖調製品の需給見通し

(単位: 千トン)

項目	期間	令和3砂糖年度 (実績)	令和4砂糖年度				合計
			10月-12月(実績)	1月-3月(実績)	4月-6月(実績)	7月-9月(実績)	
消費量		453	104.3	99.0	99.7	96.5	400
供給量		453	104.3	99.0	99.7	96.5	400

- (注) 1. 改正糖価調整法(平成30年施行)に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
2. 消費量は対象となる加糖調製品の輸入量(財務省貿易統計より算出)を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

表-3: 異性化糖の需給見通し

(単位: 千トン)

項目	期間	令和3砂糖年度 (実績)	令和4砂糖年度				合計
			10月-12月(実績)	1月-3月(実績)	4月-6月(実績)	7月-9月(実績)	
消費量		760	167.8	175.8	217.4	205.7	767
供給量		760	167.8	175.8	217.4	205.7	767

- (注) 標準異性化糖に換算した数量である。

1 砂糖の消費量の見通し

(1) 分蜜糖の消費量

分蜜糖の消費量は、引き続き物価高の影響等は見込まれるものの、インバウンド需要の増加など人流増に伴う経済活動の回復が想定されることから、年間1,760千トン（対前年+0.7%、+12千トン）、1-3月期では対前年同期比+0.9%の418.4千トンと見通す。

(2) 含蜜糖の消費量

含蜜糖の消費量は、近年の消費動向等を勘案し、年間33千トン（対前年+3.1%、+1千トン）、1-3月期では対前年同期比+6.0%の10.6千トンと見通す。

2 国内産糖の供給量の見通し

(1) 国産分蜜糖の供給量

てん菜糖については、5年産のてん菜の作付面積が前年産に比べて4,101ヘクタール（7.4%）減少。作柄については、生育期間中の気温が総じて平年よりも高く推移し、ha当たりの収量は平年並が見込まれる一方、褐斑病が多発し、根中糖分が著しく低下し、産糖量は456千トン（対前年△18.9%、△107千トン）と見通す。また、供給量については456千トン（精製糖換算。対前年△18.8%、△106千トン）と見通す。

甘しゃ糖については、5年産のさとうきびの収穫面積が、前年産に比べて475ヘクタール（2.0%）減少。現在の作柄については、一部の島において、春から夏にかけて干ばつがあったこと等に伴い、産糖量は前年を下回る134千トン（対前年△3.4%、△5千トン）と見通す。また、供給量については128千トン（精製糖換算。対前年△3.4%、△5千トン）と見通す。

この結果、国産分蜜糖供給量は583千トン（精製糖換算。対前年△15.9%、△111千トン）と見通す。

(2) 国産含蜜糖の供給量

国産含蜜糖供給量は、沖縄県及び鹿児島県南西諸島での製造見込を勘案して、8千トン（対前年同）と見通す。

3 輸入糖の供給量の見通し

(1) 分蜜糖の輸入量

分蜜糖の輸入量は、消費量の見通し、国内産糖供給量及び在庫変動を勘案して1,178千トン(対前年+11.8%、+124千トン)と見通す。

(2) 含蜜糖の輸入量

含蜜糖の輸入量は、近年の輸入動向等を踏まえ、7千トン(対前年+16.7%、+1千トン)と見通す。

4 加糖調製品の需給見通し

加糖調製品の消費量は、引き続き物価高の影響等は見込まれるものの、インバウンド需要の増加など人流増に伴う経済活動の回復が想定されることから、年間421千トン(対前年+5.3%、+21千トン)、1-3月期では近年の輸入動向等を踏まえ、対前年同期比+2.5%の101.5千トンと見通す。

加糖調製品の供給量は、消費量に見合った量が供給されるものとして見通す。

5 異性化糖の需給見通し

異性化糖の消費量は、外出機会の増加による需要の回復が見込まれることから、近年の消費動向を踏まえ、年間786千トン(対前年+2.5%、+19千トン)、1-3月期では対前年同期比+2.5%の180.2千トンと見通す。

異性化糖の供給量は、消費量に見合った量が供給されるものとして見通す。

(参考資料)

1. 砂糖及び異性化糖の需給総括表

砂糖年度	総需要量①		国内産糖生産（供給）量②					輸入量	②/①	1人 当たり 消費量	異性化糖 需 要 量
	千ト	対前年比 %	千ト	てん菜糖			甘しや糖 千ト				
				千ト	白糖 千ト	原料糖 千ト					
昭和50	2,877	+5.6	449	224	224	—	213	2,351	15	25.6	—
55	2,614	▲10.7	765	535	535	—	223	1,548	29	22.3	432
60	2,655	+0.5	870	574	574	—	285	1,779	32	21.9	617
平成2	2,643	+0.4	865	644	527	116	212	1,693	32	21.3	725
7	2,435	▲1.5	842	650	491	159	183	1,606	35	19.4	733
12	2,293	▲0.3	730	569	446	123	153	1,483	32	18.1	741
17	2,165	▲2.9	839	699	452	247	132	1,326	39	17.0	790
18	2,181	+0.7	800	643	451	192	148	1,346	37	17.1	801
19	2,197	+0.7	861	683	454	229	169	1,380	39	17.2	824
20	2,136	▲2.8	878	683	451	232	186	1,222	41	16.7	784
21	2,099	▲1.7	861	683	433	250	168	1,263	41	16.5	803
22	2,095	▲0.2	655	490	424	66	156	1,431	31	16.4	806
23	2,039	▲2.7	674	564	446	118	104	1,375	33	16.0	812
24	2,026	▲0.6	691	561	416	145	122	1,338	34	15.9	827
25	2,006	▲1.0	687	551	410	140	129	1,284	34	15.8	812
26	1,971	▲1.7	737	607	410	197	122	1,220	37	15.5	792
27	1,983	+0.6	813	676	423	253	129	1,235	41	15.6	818
28	1,957	▲1.3	688	505	400	105	173	1,214	35	15.4	832
29	1,921	▲1.8	794	656	432	224	128	1,111	41	15.2	832
30	1,895	▲1.4	745	614	401	213	120	1,183	39	15.0	824
令和元	1,779	▲6.1	788	650	415	235	127	1,030	44	14.1	785
2	1,769	▲0.6	783	630	384	246	142	1,025	44	14.1	750
3	1,803	+1.9	792	639	386	252	144	984	44	14.4	760
4	1,804	+0.0	702	562	399	163	132	1,065	39	14.5	767
5（見通し）	1,817	+0.7	591	456	390	66	128	1,185	33	14.6	786

注：1. 砂糖年度とは、当該年の10月1日から翌年の9月30日までの期間をいう。

2. 分蜜糖は精製糖ベースの数量、含蜜糖については製品ベースの数量、異性化糖は標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

3. 国内産糖生産量と輸入量の合計と総需要量の差は在庫変動である。

4. 国内産糖生産量の合計には含蜜糖生産量を含む。

5. 総需要量は、分蜜糖消費量、含蜜糖消費量及び工業用等の合計である。

6. 輸入量は、通関実績の数値である。

2. 国内産糖の生産動向

砂糖年度		作付面積 (ha)	ha当たり収量 (トン)	総生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
北海道産てん菜糖	25	58,188	59.04	3,435		16.05	551
	26	57,234	62.32	3,567		17.05	608
	27	58,682	66.89	3,925		17.25	677
	28	59,390	53.69	3,189		15.84	505
	29	58,139	67.10	3,901		16.83	657
	30	57,209	63.11	3,611		17.03	615
	元	56,344	70.74	3,986		16.34	651
	2	56,749	68.94	3,912		16.13	631
	3	57,509	70.61	4,061		15.76	640
	4	55,182	64.23	3,545		15.87	562
5(見通し)	51,081	66.69	3,407		13.38	456	

砂糖年度		収穫面積 (ha)	ha当たり収量 (トン)	総生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
鹿児島産甘しや糖	25	9,372	54.21	508	99.00	12.03	60
	26	10,138	46.39	470	98.88	11.18	52
	27	10,171	49.59	504	98.91	11.94	60
	28	10,020	63.49	636	99.05	12.19	77
	29	9,877	53.46	528	98.84	10.73	56
	30	9,436	47.97	453	98.79	11.43	51
	元	9,168	54.28	498	98.86	12.18	60
	2	9,598	54.40	522	98.97	12.11	63
	3	9,511	57.06	543	99.03	11.93	64
	4	9,566	55.73	533	99.03	11.78	62
5(見通し)	9,522	54.66	520	98.90	11.82	61	

砂糖年度		収穫面積 (ha)	ha当たり収量 (トン)	総生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
沖縄産甘しや糖	25	12,535	54.47	683	92.43	11.81	75
	26	12,736	54.06	689	92.12	11.99	76
	27	13,212	57.12	755	91.90	10.88	75
	28	12,938	72.44	938	92.50	12.07	105
	29	13,809	55.67	769	90.88	11.18	78
	30	13,145	56.49	743	90.46	11.16	75
	元	12,901	52.39	676	91.31	11.80	73
	2	12,871	63.23	814	91.20	11.64	86
	3	13,791	59.13	815	89.84	11.86	87
	4	13,679	53.91	737	91.99	11.26	76
5(見通し)	13,248	51.91	688	91.65	11.58	73	

(注)・てん菜糖については糖業者調べ。甘しや糖については県庁及び糖業者調べ。- 6 -
 ・産糖量は、てん菜糖は製品ベース、甘しや糖は産糖ベースの数量である。

3. 加糖調製品の輸入量の推移

(単位：千トン、%)

砂糖年度 品目	平成25		平成26		平成27		平成28		平成29		平成30		令和元		令和2		令和3		令和4	
	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率
ココア調製品	91	2.6	98	8.2	90	▲ 7.9	108	20.0	101	▲ 7.1	99	▲ 1.9	99	0.3	96	▲ 3.0	104	8.7	93	▲ 11.3
調製した豆	71	▲ 3.5	66	▲ 7.2	64	▲ 3.2	60	▲ 6.7	60	▲ 0.2	59	▲ 1.0	57	▲ 4.3	56	▲ 0.4	44	▲ 22.8	38	▲ 11.9
コーヒー調製品	1	17.9	0	▲ 25.3	0	▲ 13.7	0	▲ 10.6	0	▲ 3.4	0	37.4	0	11.7	1	66.5	1	▲ 4.8	1	▲ 7.9
粉乳調製品	146	▲ 2.0	159	8.6	155	▲ 2.4	172	11.5	173	0.4	175	0.8	168	▲ 3.8	140	▲ 16.3	135	▲ 3.7	101	▲ 25.6
その他の調製品	198	2.4	201	1.6	200	▲ 0.7	195	▲ 2.3	192	▲ 1.8	192	▲ 0.2	181	▲ 5.7	176	▲ 2.6	180	2.3	177	▲ 1.4
合計	506	0.3	524	3.5	509	▲ 2.9	536	5.3	526	▲ 2.0	524	▲ 0.2	505	▲ 3.8	470	▲ 6.9	464	▲ 1.2	410	▲ 11.7

資料：財務省「日本貿易統計」

注1：「その他の加糖調製品」の多くは、砂糖にソルビトール（ぶどう糖を原料とする糖アルコール）を混合した調製品である。

注2：P1の加糖調製品の需給見通しにおける実績値と数量が異なるのは、計上している加糖調製品が一部異なるためである。

4. 高甘味度人工甘味料の輸入量の推移

砂糖年度 品目	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	
	10～9月										
アスハ ^o ルテーム	169,879 kg	185,112 kg	87,715 kg	71,117 kg	73,342 kg	57,679 kg	63,273 kg	60,821 kg	91,075 kg	92,708 kg	前年同期比 101.8% 甘味度 200倍
スクラロース	13,285 kg	15,689 kg	20,717 kg	20,585 kg	24,910 kg	37,545 kg	34,470 kg	33,085 kg	76,072 kg	67,125 kg	前年同期比 88.2% 甘味度 600倍
アセスルファムカリウム	544,616 kg	509,499 kg	505,462 kg	579,666 kg	495,751 kg	497,457 kg	499,657 kg	614,977 kg	620,841 kg	507,782 kg	前年同期比 81.8% 甘味度 200倍
合計	727,780 kg	710,300 kg	613,894 kg	671,368 kg	594,003 kg	592,681 kg	597,400 kg	708,883 kg	787,988 kg	667,615 kg	前年同期比 84.7%
	728 t	710 t	614 t	671 t	594 t	593 t	597 t	709 t	788 t	668 t	

資料：財務省「日本貿易統計」

5. 甘味需要量の推移

(単位:千トン、%)

砂糖年度 品目	平成24		平成25		平成26		平成27		平成28		平成29		平成30		令和元		令和2		令和3		令和4	
	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率																
砂糖	2,026	▲ 0.6	2,006	▲ 1.0	1,971	▲ 1.7	1,983	0.6	1,957	▲ 1.3	1,921	▲ 1.8	1,895	▲ 1.4	1,779	▲ 6.1	1,769	▲ 0.6	1,803	1.9	1,804	0.1
異性化糖	827	1.8	812	▲ 1.8	792	▲ 2.5	818	3.3	832	1.7	832	0.0	824	▲ 1.0	785	▲ 4.7	750	▲ 4.5	760	1.3	767	0.9
加糖調製品 (含糖量ベース)	366	0.8	368	0.7	383	3.9	371	▲ 3.0	393	5.8	384	▲ 2.3	382	▲ 0.4	368	▲ 3.7	344	▲ 6.5	345	0.3	308	▲ 10.7
甘味全体	3,219	0.2	3,186	▲ 1.0	3,146	▲ 1.3	3,172	0.8	3,182	0.3	3,137	▲ 1.4	3,101	▲ 1.1	2,932	▲ 5.4	2,863	▲ 2.4	2,908	1.6	2,879	▲ 1.0
一人当たり (kg)	25.3	0.4	25.1	▲ 0.9	24.8	▲ 1.1	25.0	0.8	25.1	0.4	24.8	▲ 1.2	24.6	▲ 0.9	23.3	▲ 5.2	22.8	▲ 1.9	23.3	1.9	23.1	▲ 0.6

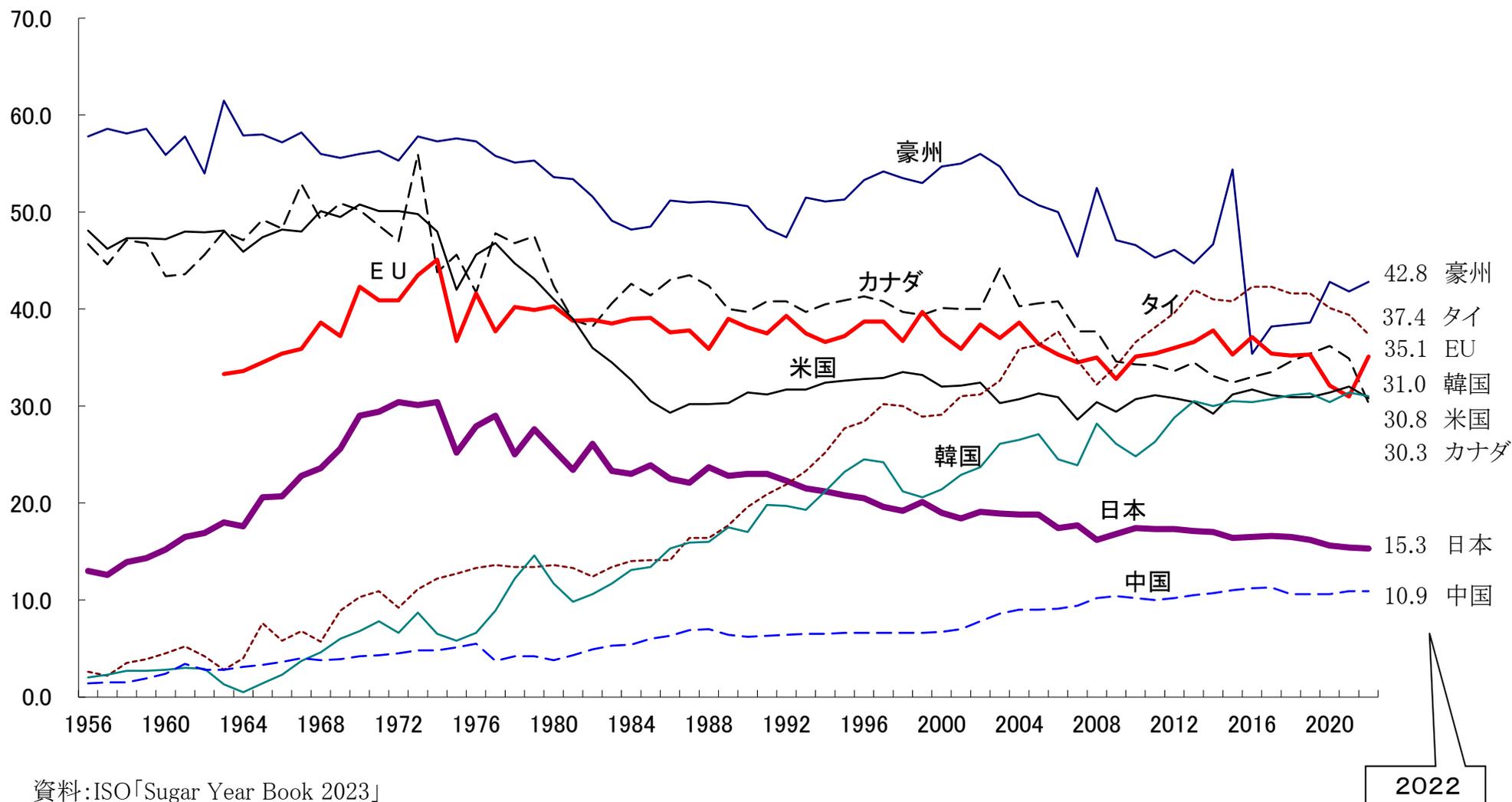
資料: 財務省「日本貿易統計」、農林水産省調べ

注: 1. 異性化糖は、標準異性化糖(果糖55%ものの固形ベース)に換算したものである。

2. 加糖調製品(含糖量ベース)は、加糖調製品に含まれる砂糖の量を推計したものである。

6. 砂糖の一人当たり消費量の国際比較

kg/人・年



資料:ISO「Sugar Year Book 2023」

注1:粗糖換算した暦年ベースの数値である。

注2:工業用等に使用する砂糖を含む。

7. 粗糖の輸入実績

(単位：千トン、%)

砂糖年度 国名	平成26		平成27		平成28		平成29		平成30		令和元		令和2		令和3		令和4	
	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比												
タイ	772	61.3	585	46.6	405	32.7	263	23.5	221	18.3	136	13.1	118	11.5	91	9.2	75	7.0
オーストラリア (粗糖)	279	22.1	127	10.1	53	4.3	44	3.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オーストラリア (高糖度原料糖)	108	8.6	542	43.2	753	60.8	766	68.3	987	81.7	870	84.0	909	88.5	894	90.8	990	92.9
南アフリカ	15	1.2	-	-	-	-	27	2.4	-	-	30	2.9	-	-	-	-	-	-
ブラジル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
グアテマラ	85	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	-	-	-	-	27	2.2	21	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,259	100.0	1,255	100.0	1,237	100.0	1,122	100.0	1,208	100.0	1,036	100.0	1,027	100.0	985	100.0	1,065	100.0

資料：財務省「日本貿易統計」

注：1. 甘しゃ粗糖（税番1701.11-190、平成24年1月からは1701.14-110）、てん菜粗糖（1701.12-100）及び高糖度原料糖（1701.14-200（豪州））の輸入数量である。

2. 四捨五入により計と内訳は必ずしも一致しない。

3. 「0」は単位未満である。

8. 砂糖の国際需給

(単位：千トン、%)

年 度 (10月～9月)	生 産 量		輸 入 量	輸 出 量	消 費 量		期 末 在 庫 量		在 庫 率 (期末在庫/消費量)
		対前年増減率				対前年増減率		対前年増減率	
14/15	183,717	▲ 0.2	59,707	62,081	179,048	0.3	73,842	6.7	41.2
15/16	175,955	▲ 4.2	67,776	69,077	179,976	0.5	69,822	▲ 5.4	38.8
16/17	180,387	2.5	70,759	71,288	181,898	1.1	68,310	▲ 2.2	37.6
17/18	195,073	8.1	66,243	68,259	182,722	0.5	80,661	18.1	44.1
18/19	186,618	▲ 4.3	61,412	61,495	182,834	0.1	84,445	4.7	46.2
19/20	181,594	▲ 2.7	69,256	71,643	184,454	0.9	81,585	▲ 3.4	44.2
20/21	181,623	0.0	66,782	68,189	185,555	0.6	77,652	▲ 4.8	41.8
21/22	186,251	2.5	69,322	71,729	188,545	1.6	75,359	▲ 3.0	40.0
22/23	191,441	2.8	69,683	71,049	191,165	1.4	75,634	0.4	39.6
23/24 (予測)	191,271	▲ 0.1	73,961	72,376	193,346	1.1	73,559	▲ 2.7	38.0

- (注) 1. (独)農畜産業振興機構 調べ
 2. 数量は粗糖ベースの数値である。
 3. 新しい需給数値の発表がある度に過去の数値は修正される。

9. 国際糖価の推移

(1) 粗糖現物価格

(単位：セント/ポンド)

年 月										
	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
1	16.78	15.92	15.41	22.39	15.68	14.30	16.05	19.02	21.54	24.39
2	17.72	15.46	14.58	22.24	15.22	14.50	17.73	19.89	21.30	25.63
3	18.64	13.89	16.80	19.99	14.48	14.11	14.81	19.49	22.41	26.13
4	18.33	13.91	16.69	18.37	13.42	14.10	13.42	19.89	23.10	29.76
5	18.56	13.77	18.19	17.69	13.27	13.39	14.02	21.11	22.86	31.29
6	18.51	12.95	20.93	15.68	13.63	14.08	15.45	21.21	22.48	30.26
7	18.11	12.93	21.25	16.10	12.73	13.68	15.44	21.39	22.21	29.72
8	17.08	11.87	21.80	15.88	12.07	13.13	16.26	22.80	21.96	29.71
9	15.87	12.70	23.40	16.20	12.73	12.88	15.95	22.75	21.97	32.17
10	17.20	14.99	24.62	16.02	14.72	13.97	17.35	22.55	22.75	32.19
11	16.76	15.90	22.62	16.79	14.49	14.36	18.06	22.68	23.86	32.74
12	15.82	16.03	20.74	16.24	14.20	15.04	17.74	22.17	24.46	
平均	17.45	14.19	19.75	17.80	13.89	13.96	16.02	21.25	22.58	(29.45)

(注) H23.6までは、ニューヨーク取引所（インターコンチネンタル・エクスチェンジ）公表
H25.1までは東京穀物商品取引所調査、R2.3までは東京商品取引所調査、R2.4月以降は、
大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格の月平均額である。

(2) 日本円に換算した価格

(単位：円/kg)

年 月										
	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
1	39	42	41	57	39	35	39	44	55	71
2	40	41	37	56	37	36	43	47	55	76
3	42	37	42	50	34	35	35	47	59	78
4	42	37	41	45	32	35	32	48	65	88
5	42	37	44	44	32	33	33	51	66	95
6	42	36	49	39	33	34	37	52	67	95
7	41	35	49	40	32	33	37	52	68	93
8	39	33	49	39	30	31	38	56	66	95
9	38	34	53	40	32	31	37	56	70	106
10	41	40	57	40	37	34	41	57	74	107
11	43	43	54	42	37	35	42	58	76	110
12	42	43	53	41	35	37	41	56	74	
平均	41	38	47	44	34	34	38	52	66	(92)

(注) 「(1) 粗糖現物価格」を日別円換算したものの月平均額である。

10. 国内糖価の推移

(1) 卸売価格の推移

(単位：円/kg)

年 月	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
1	186	186	184	193	190	188	188	188	202	217
2	186	186	186	193	190	188	188	188	205	223
3	186	186	188	196	190	188	188	189	205	228
4	186	186	188	196	190	188	188	193	205	228
5	186	186	188	196	190	188	188	193	205	228
6	186	186	188	196	190	188	188	193	205	228
7	186	186	188	192	189	188	188	193	205	232
8	186	186	188	190	188	188	188	199	215	240
9	186	186	188	190	188	188	188	199	217	240
10	186	184	189	190	188	188	188	199	217	240
11	186	184	193	190	188	188	188	199	217	240
12	186	184	193	190	188	188	188	199	217	
平均	186	186	188	193	189	188	188	194	210	(231)

(注) 1. 日本経済新聞の市中相場（東京、上白、大袋30kg入り）の月平均価格（消費税抜き）である。

(2) 小売価格の推移

(単位：円/kg)

年 月	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
1	199	202	198	199	198	195	197	198	203	233
2	201	207	199	197	199	201	199	195	207	237
3	196	203	198	200	199	202	198	196	206	236
4	208	202	200	201	199	202	198	194	209	241
5	206	200	199	202	199	202	198	197	212	246
6	204	201	200	202	199	200	196	199	213	246
7	205	200	200	199	199	198	198	198	213	248
8	204	197	198	200	200	199	197	199	211	247
9	201	198	201	200	202	201	198	199	216	260
10	205	197	201	200	201	201	195	200	218	260
11	202	199	198	197	198	199	195	201	226	262
12	203	197	195	194	195	196	196	201	226	
平均	203	200	199	199	199	200	197	198	213	(247)

(注) 1. 総務省統計局発表の東京都区部の小売価格（上白、1kg入り）である。

11. 砂糖の用途別消費動向

(単位:千トン、%)

用途	平成24		平成25		平成26		平成27		平成28		平成29		平成30		令和1		令和2		令和3	
	消費量	構成比																		
菓 子 類	487	24.1	493	24.1	496	24.7	502	25.2	505	25.6	507	26.2	505	26.4	505	26.7	473	26.4	489	27.5
清 涼 飲 料	351	17.4	352	17.2	342	17.1	345	17.3	350	17.8	350	18.1	352	18.4	356	18.9	337	18.8	317	17.9
パ ン 類	209	10.4	207	10.1	208	10.3	208	10.4	207	10.5	209	10.8	207	10.9	208	11.0	198	11.1	204	11.5
家 庭 用	248	12.3	235	11.5	236	11.8	220	11.1	213	10.8	209	10.8	204	10.7	194	10.3	181	10.1	180	10.1
小 口 業 務 用	196	9.7	213	10.4	184	9.2	199	10.0	194	9.8	179	9.2	142	7.4	140	7.4	114	6.4	143	8.1
漬物・佃煮・ねり製品等	117	5.8	115	5.6	112	5.6	110	5.5	109	5.5	105	5.4	105	5.5	106	5.6	104	5.8	106	6.0
調 味 料	95	4.7	97	4.7	97	4.8	97	4.9	97	4.9	98	5.1	99	5.2	99	5.2	99	5.5	98	5.5
乳 製 品	129	6.4	120	5.9	114	5.7	104	5.2	95	4.8	90	4.6	92	4.8	91	4.8	89	5.0	87	4.9
缶 詰 ・ ジ ャ ム 等	51	2.5	50	2.4	50	2.5	49	2.5	49	2.5	49	2.5	48	2.5	47	2.5	47	2.6	45	2.5
酒 類	36	1.8	36	1.8	38	1.9	39	2.0	39	2.0	39	2.0	38	2.0	38	2.0	37	2.1	39	2.2
冷 菓	32	1.6	32	1.5	31	1.5	30	1.5	31	1.6	32	1.6	33	1.7	31	1.6	31	1.7	29	1.6
冷 凍 食 品	17	0.9	17	0.9	18	0.9	18	0.9	18	0.9	19	1.0	19	1.0	19	1.0	18	1.0	19	1.1
医 薬 品	14	0.7	13	0.6	13	0.6	12	0.6	12	0.6	12	0.6	12	0.6	12	0.6	11	0.6	11	0.6
そ の 他	35	1.8	66	3.2	68	3.4	58	2.9	53	2.7	41	2.1	56	3.0	43	2.3	50	2.8	9	0.5
合 計	2,017	100.0	2,045	100.0	2,006	100.0	1,991	100.0	1,971	100.0	1,939	100.0	1,911	100.0	1,887	100.0	1,789	100.0	1,776	100.0

(注)平成29年度までは精糖工業会、平成30年度以降は農畜産業振興機構調べ。

12. 加糖調製品の用途別消費動向

(単位:千トン、%)

用途	平成30		令和1		令和2		令和3	
	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比
菓 子 類	257	40.2	245	39.6	238	40.9	235	42.3
パ ン 類	78	12.2	78	12.7	74	12.7	66	11.9
清 涼 飲 料	75	11.7	73	11.7	67	11.5	63	11.3
調 味 料	70	10.9	67	10.9	60	10.4	60	10.8
漬物・佃煮・ねり製品等	38	6.0	38	6.1	35	6.1	35	6.3
冷 菓	40	6.3	38	6.2	37	6.3	35	6.2
乳 製 品	43	6.6	42	6.7	36	6.1	28	5.0
缶詰・ジャム等	29	4.6	28	4.5	26	4.5	25	4.6
酒 類	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.1
そ の 他	10	1.5	9	1.5	9	1.5	8	1.5
合 計	639	100.0	618	100.0	582	100.0	555	100.0

(注)農畜産業振興機構調べ。

13. 異性化糖の生産量等の推移

(1) 生産量の推移

(単位:千トン)

砂糖 年度	固形物 換算数量	標準異性化 糖換算数量	(参考)製品 ベース数量
20	816	784	1,142
21	822	803	1,153
22	844	806	1,182
23	843	812	1,179
24	862	827	1,203
25	847	812	1,183
26	840	792	1,171
27	852	818	1,204
28	883	832	1,232
29	883	832	1,227
30	873	824	1,213
R元	830	785	1,155
R2	804	750	1,117
R3	812	760	1,131
R4	820	767	1,141

(2) 製品の用途別販売数量

(単位:千トン、%)

砂糖年度 用途	25		26		27		28		29		30		R元		R2		R3		R4	
	販売量	比率																		
清涼飲料	580	49.0	581	49.6	603	50.0	628	51.1	638	52.0	646	53.3	584	50.4	548	49.2	560	49.4	555	48.8
酒類	91	7.7	90	7.7	90	7.5	101	8.2	108	8.8	102	8.4	112	9.7	108	9.7	111	9.8	123	10.8
調味料	92	7.8	90	7.7	94	7.8	104	8.4	105	8.6	105	8.6	112	9.6	116	10.4	119	10.5	122	10.7
乳性飲料	91	7.7	92	7.9	99	8.2	103	8.4	97	7.9	91	7.5	105	9.0	114	10.2	116	10.2	107	9.4
パン類	66	5.6	63	5.4	64	5.3	65	5.3	63	5.2	64	5.3	64	5.5	62	5.6	63	5.6	61	5.4
菓子類	27	2.3	26	2.2	29	2.4	29	2.4	28	2.3	27	2.3	25	2.2	26	2.3	25	2.2	28	2.5
冷菓	28	2.3	23	2.0	23	1.9	25	2.0	25	2.1	27	2.2	26	2.3	27	2.4	26	2.2	26	2.3
漬物	24	2.0	24	2.0	23	1.9	23	1.9	22	1.8	22	1.8	22	1.9	23	2.0	22	2.0	22	2.0
乳製品	8	0.7	8	0.7	8	0.7	7	0.6	8	0.6	8	0.6	7	0.6	6	0.5	6	0.5	7	0.6
缶詰類	9	0.7	8	0.7	7	0.6	7	0.5	7	0.5	6	0.5	7	0.6	6	0.6	6	0.6	4	0.3
医薬	5	0.4	4	0.3	4	0.3	4	0.4	2	0.1	2	0.1	2	0.2	1	0.1	1	0.1	1	0.1
その他	162	13.7	162	13.8	162	13.4	133	10.8	123	10.0	113	9.3	93	8.0	77	6.9	80	7.0	81	7.2
合計	1,182	100	1,171	100	1,206	100	1,229	100	1,228	100	1,212	100	1,159	100	1,115	100	1,135	100	1,138	100

(注)1. 農林水産省調べ。

2. 標準異性化糖とは、果糖分55%換算の固形ベースをいう。

3. 製品ベースには、水分、砂糖等が含まれる。

(注)1. 用途のその他には、ジャム、佃煮、練り製品、飼料などが含まれる。

2. ラウンドの関係で、内訳と合計が一致しない場合がある。

資料:農林水産省調べ。

(3) 異性化糖の価格の推移

(単位:円/kg)

年 月	27		28		29		30		R1		R2		R3		R4		R5	
	果糖分 42%	果糖分 55%																
1	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	146.5	152.5	166.5	172.5
2	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	146.5	152.5	166.5	172.5
3	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	146.5	152.5	166.5	172.5
4	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	139.5	145.5	146.5	152.5	166.5	172.5
5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	141.5	147.5	146.5	152.5	166.5	172.5
6	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	141.5	147.5	146.5	152.5	166.5	172.5
7	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	141.5	147.5	146.5	152.5	166.5	172.5
8	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	141.5	147.5	146.5	152.5	166.5	172.5
9	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	141.5	147.5	146.5	152.5	166.5	172.5
10	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	142.5	148.5	146.5	152.5	166.5	172.5
11	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	146.5	152.5	146.5	152.5	166.5	172.5
12	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	146.5	152.5	151.5	157.5		
平均	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	139.8	145.8	146.9	152.9	(166.5)	(172.5)

(注) 日本経済新聞による東京月央価格。

砂糖の国別需給予測(2023砂糖年度)

(単位:千トン)

順位	生産		輸出		輸入	
	国	数量	国	数量	国	数量
	シェア	前年比	シェア	前年比	シェア	前年比
1	ブラジル	48,480	ブラジル	35,577	中国	7,173
	25.3%	+ 8,760	49.2%	+ 6,592	9.7%	+ 1,245
2	インド	31,949	タイ	6,233	インドネシア	5,533
	16.7%	▲ 3,116	8.6%	▲ 1,996	7.5%	▲ 1,042
3	EU	16,406	インド	3,478	インド	3,070
	8.6%	+ 772	4.8%	▲ 5,168	4.2%	+ 1,384
4	中国	10,630	オーストラリア	3,230	アメリカ合衆国	2,971
	5.6%	+ 932	4.5%	+ 288	4.0%	▲ 308
5	タイ	9,154	EU	2,158	EU	2,626
	4.8%	▲ 2,539	3.0%	+ 1,113	3.6%	▲ 655
6	アメリカ合衆国	8,372	グアテマラ	1,676	バングラデシュ	2,598
	4.4%	▲ 19	2.3%	+ 199	3.5%	+ 214
7	ロシア	7,229	メキシコ	1,114	マレーシア	2,312
	3.8%	+ 616	1.5%	+ 42	3.1%	+ 91

順位	生産		輸出		輸入	
	国	数量	国	数量	国	数量
	シェア	前年比	シェア	前年比	シェア	前年比
8	パキスタン	6,773	ロシア	932	ナイジェリア	2,230
	3.5%	▲ 441	1.3%	+ 670	3.0%	+ 228
9	メキシコ	5,300	モロッコ	800	スーダン	2,127
	2.8%	▲ 238	1.1%	+ 11	2.9%	+ 225
10	オーストラリア	4,233	南アフリカ	776	アルジェリア	1,950
	2.2%	▲ 65	1.1%	+ 66	2.6%	▲ 141
参考 1	世界計	191,271	世界計	72,376	世界計	73,961
	100.0%	▲ 170	100.0%	+ 1,327	100.0%	+ 4,278
参考 2	日本	750	日本	3	日本	1,143
	0.4%	▲ 5	0.0%	+ 1	1.5%	▲ 21

- 注) 1. (独)農畜産業振興機構 調べ
2. 2023砂糖年度(2023年10月~2024年9月)における予測数値に基づく上位10カ国。
3. 数量は粗糖ベースの数値である。
4. 新しい需給数値の発表がある度に過去の数値は修正される。

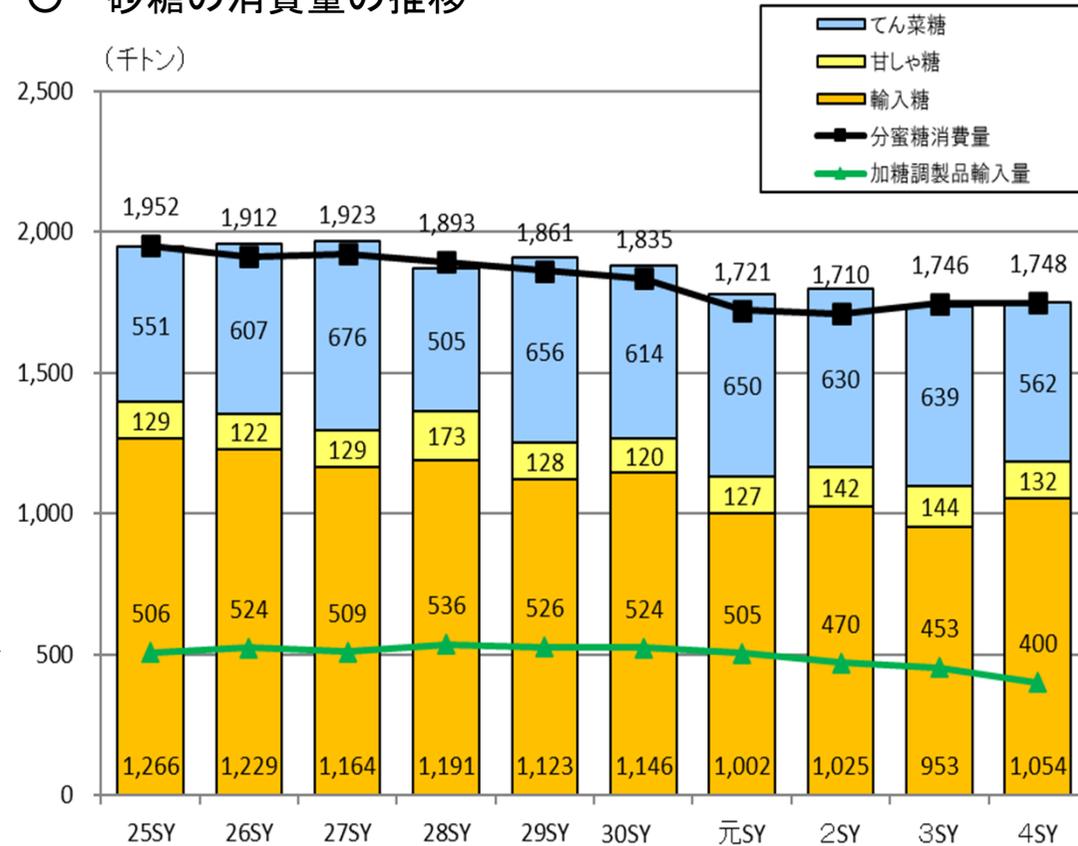
- 砂糖の国際相場は、令和元年10月以降、世界的な供給過剰予測から供給逼迫予測に転じたことで、令和2年2月には17.73セント/ポンドまで上昇したものの、原油相場及び主要生産国ブラジルの通貨であるレアルの下落、新型コロナウイルスによる景気後退への懸念等に伴い令和2年4月には13.42セント/ポンドまで下落した。その後、原油相場の上昇に伴うエタノールへの転換等から再び上昇し、主要産地における天候不順などに伴う供給逼迫の懸念から、令和5年11月においては32.74セント/ポンドと歴史的に高い水準で推移。
- 日経市価（砂糖卸売価格）は、粗糖の相場を反映して、令和3年3月に4年ぶりに値を上げた後、8月及び令和4年1月に6円/kg、8月、令和5年2月及び7月に12円/kg値上がりし、令和5年11月は240円/kgで推移。
- 砂糖消費は、消費者の低甘味嗜好等により近年減少傾向で推移していたが、人流増加等に伴う経済活動の回復等もあり、令和4砂糖年度は前砂糖年度より増加。

○ 砂糖の相場の推移



注1: 小売価格は、総務省統計局調べ。
 注2: 日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の価格（消費税抜き）で、各月の平均値。
 注3: 粗糖現物価格は、令和2年3月までは東京商品取引所調査の粗糖現物価格であり、令和2年4月以降は大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格（いずれも各月の平均値）。

○ 砂糖の消費量の推移



資料：農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」